

令和2年度浅川町教育委員会事務の点検・評価報告書

令和3年8月10日
浅川町教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条により報告します。

令和2年度浅川町教育委員会事務点検・評価

(地教行法)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

1 令和2年度浅川町教育委員会の基本目標

「ふるさとを愛し、自ら心身を鍛える、心豊かな町民を育成する」

2 教育委員会の重点施策

- (1) 町民の信頼と期待にこたえる教育行政を推進する。
- (2) 子どもの生きる力を育む学校教育の充実を推進する。
- (3) 明日を担う青少年の健全育成を推進する。
- (4) 心の触れ合いと生きがいに満ちた生涯学習を推進する。
- (5) 健康で活力のある生活を目指す保健・スポーツを推進する。
- (6) ふるさとの伝統を生かした地域性豊かな文化活動を推進する。
- (7) 障がいのある子どもとない子どもが共に学ぶインクルーシブ教育を推進する。
- (8) 国際化社会に対応した国際理解教育と外国語活動を推進する。

3 教育委員会努力事項

教育委員会

- (1) 教育施策の計画的推進
 - ア、浅川町振興計画に基づく施策の実現に努める。
 - イ、県教育委員会の第6次福島県総合教育計画に基づく施策の実現に努める。
- (2) 事務局組織の充実と職責の明確化
 - ア、各課内の組織の充実とその他の機関との連携強化を図る。
 - イ、職務の明確化、的確な職務の遂行と横断的な職務の遂行に努める。
- (3) 教育予算の編成及び執行の適正化
 - ア、適正な予算の確保と効率的な執行に努める。
- (4) 教職員研修の充実
 - ア、各種研修会の開催と参加により、教職員の資質の向上を図る。
 - イ、基礎学力向上推進プランの実践に努める。

(5) 教育施設・設備の整備充実と活用

ア、教育施設・設備の整備充実とその有効活用を図る。

イ、社会教育施設・社会体育施設の整備充実とその有効活用を図る。

4 点検・評価の対象

令和2年度浅川町教育委員会重点施策の実現を図るために掲げた努力事項5項目について推進状況と結果を点検・評価項目とする。

5 評価基準

A —— 計画通りに推進し、十分成果が上がっている

B —— 大体計画通りに推進され、成果があった

C —— もう少し努力の必要があり改善の余地がある

D —— 成果が見られず見直しが必要

6 評価委員

浅川町社会教育委員長

内田 勝雄

浅川町民生委員児童委員協議会長

深谷 公生

浅川町連合PTA会長

八木沼 秀樹

令2年度浅川町教育委員会事務の点検・評価総括表

重点施策				
(1) 町民の信頼と期待にこたえる教育行政を推進する。 (2) 子どもの生きる力を育む学校教育の充実を推進する。 (3) 明日を担う青少年の健全育成を推進する。 (4) 心の触れ合いと生きがいに満ちた生涯学習を推進する。 (5) 健康で活力のある生活を目指す保健・スポーツを推進する。 (6) ふるさとの伝統を生かした地域性豊かな文化活動を推進する。 (7) 障がいのある子どもとない子どもが共に学ぶインクルーシブ教育を推進する。 (8) 国際化社会に対応した国際理解教育と外国語活動を推進する。				
努力事項	事業名	結果	評価	所見
(1) 教育施策の計画的推進	ア 浅川町振興計画に基づく施策の実現に努める。	政策目標2 「未来に輝く人と文化づくり」により、教育・文化環境の充実に力を入れ、学校教育、生涯教育を中心に各基本施策を進めた。	A	○心の教育の充実、基盤的な学力の定着、ICT環境の整備充実、公民館事業の整備充実等の各事業について、重点的に進めることができた。
	イ 県教育委員会の第6次福島県総合教育計画に基づく施策の実現に努める。	基本目標① 知徳体のバランスの取れた人間の育成②学校、家庭、地域が一体となった教育③豊かな教育環境のそれぞれについて、コロナ禍の中、限られた範囲内で実践を進めることができた。	B	○特に子どもの心と体、学力を育む施策、家庭教育や教職員の資質の向上についての施策は、重要な内容として重点的に取り組むことができた。少しずつ成果も見られるようになった。

努力事項	事業名	結果	評価	所見
◎芸術文化振興と文化遺産の保存・活用 (社会教育)	①文化活動 ○成人式(延期) ○花いっぱい運動、文化祭、芸能祭(中止) ②文化財案内標識建替え工事 (山白石字破石)	新型コロナの影響により活動が出来なかった。 完了	C A	○今後も新型コロナウイルス感染症の影響が考えられるが、感染症対策を図り、活動を実施していきたい。 ○年次計画により実施できた。
◎子育て支援事業 (社会教育)	① チャレンジ少年教室 ② 青少年健全育成活動	完了	A	○児童・保護者のニーズに合った内容での実践であり、新型コロナウイルス感染症対策をとりながら計画通り実施できた。
<p>(1) 教育施策の計画的推進について</p> <p>評価委員の評価 (B)</p> <p>① 教育施策の充実について年次計画により進められていると思われる。また、振興計画の施策通り進めてもらいたい。</p> <p>② 新型コロナウイルス感染症防止による影響で実施できない事業はあったが、対策を図りながら実施できている事業もある。今後も対策を図りながら事業の推進を図っていただきたい。</p>				

令和2年度浅川町教育委員会事務の点検・評価総括表

努力事項	事業名	結果	評価	所見
(2) 事務局組織の充実と職責の明確化	<p>ア 課内の組織の充実とその他の機関との連携強化を図る。</p> <p>◎学校教育課組織の充実 職員2名、指導主事1名、任用職員2名で事務執行や教育指導に努力する。</p> <p>イ 職務の明確化、的確・横断的な職務の遂行に努める</p>	<p>職務内容を明確にし、事務分担の担当だけでなく互いに協力して取り組んだ。</p>	A	<p>○関係機関との連携を図りながら全般に亘り適切に執行している。</p> <p>○組織の充実は教育の充実に直結するものと考えられ、人員確保に努めたい。</p>
<p>(2) 事務局組織の充実と職責の明確化について 評価委員の評価 (A)</p> <p>① 関係機関との連携を図りながら全般に亘り適切に執行している。学力等、子どもの教育の充実に関わるので人員確保により適切な事業推進を望む。</p> <p>② 庁内全体を見通し、各課仕事の内容と量のバランスを考慮した人員配置を検討してもらいたい。</p>				

令和2年度浅川町教育委員会事務の点検・評価総括表

努力事項	事業名	結果	評価	所見
(3) 教育予算の編成及び執行の適正化	ア 適正な予算の確保と効率的な執行に努める。 (予算編成の手順) ○学校・PTA・教育委員会・町当局との懇談会開催 (各学校現場の要望聴取) ○教育委員会事務局で予算原案作成 ○教育委員会で検討 ○予算要求書提出 ○総務課長、副町長、町長査定 ○議会へ議案提出議決・決定 ○予算の執行	令和2年度教育委員会関係当初予算額 484,687千円 補正予算額 187,689千円 最終予算額(流用含む) 673,735千円 令和3年度へ繰越明許費 28,328千円 (新型コロナ対応事業費分)	A	○現場の要望を聴取し、内容を精選して予算化している。 ○適切に予算が確保され、良好と思われる。
	(予算の執行状況) ○教育総務費 繰越明許費 5,050千円 ○浅川小学校費 繰越明許費 4,799千円 ○浅川中学校費 97.7% ○学校給食センター費 96.0% ○あさかわこども園費 繰越明許費 17,279千円 ○社会教育費 繰越明許費 1,200千円 ○保健体育費	98.7%(96.7%) 交付金対応分 翌年度執行 98.4%(88.1%) 交付金対応分 翌年度執行 97.7% 96.0% 97.8%(88.4%) 交付金対応分 翌年度執行 94.6%(92.9%) 交付金対応分 翌年度執行 86.7%	A	○概ね高い執行率となっており、良好と思われる。 今後も継続した予算の確保・執行を進めたい。 なお、新型コロナ対応臨時交付金事業分についても、翌年度の速やかな事務の執行を進める。

(3) 教育予算の編成及び執行の適正化について

評価委員の評価 (A)

- ① 適切に予算が確保され、効率的に予算執行されている。
- ② 新型コロナ対応臨時交付金による各事業についても、適切に執行されている。
- ③ 今後も引き続き、新型コロナ対応臨時交付金による繰越事業を含め、学校現場の要望に応じて限られた予算の中で最大限の効果が得られるような事業の実施を要望する。

令和2年度浅川町教育委員会事務の点検・評価総括表

努力事項	事業名	結果	評価	所見
(4) 教職員の研修の充実	ア 各種研修会の開催と参加により、教職員の資質の向上を図る。	県の配置予算を有効活用し、各種研修会に積極的に参加できた。	A	○教職員には幅広い職務が課せられ、とても激務のように見える。 本来の授業のあり方や子ども達とのかかわりの重要な部分が損なわれないよう配慮して欲しい。
	◎校内授業研究会・研修会の積極的な開催 浅川小学校 浅川中学校	計画通り実施できた。 21回 24回	A	○研修日を年間計画に位置づけ、計画的に実施されている。 指導助言者を招聘し、適切なアドバイスをいただいている。
	◎町教育協議会への研修補助と小・中学校、こども園の「総合的な学習の時間」取り組み補助	「総合的な学習の時間」の充実を図った。	B	○新型コロナ対策の関係もあり講演会の開催は出来なかったが、協議会への取り組みに対する補助を行った。
	◎福島県道徳教育支援事業指定 浅川小学校授業研究会 11月4日	約70名の参加。 低・中・高学年それぞれで授業を公開。 各分科会、全大会・講演会の実施。	A	○道徳の評価等についての提案授業により、各分科会、全大会で活発に協議が行われた。 ○年間を通して計画的に研修を進めることにより、道徳教育の充実が図られた。
	◎町教育委員会学校訪問 授業参観と話し合い 7月27日	年1回	A	○新型コロナウイルス感染症の影響も考慮し、年2回の予定を最小限の訪問とした。
イ 基礎学力向上プランの実践推進	学校ごと	B	○国語、算数・数学を中心に基礎学力の定着を図る内容の授業に力を入れている。	

努力事項	事業名	結果	評価	所見
	◎全国学力・学習状況調査や町独自のNRT学力テストにより、自校の実態分析と指導の改善 ◎GIGAスクール構想により配置したICT機器の活用と促進	令和2年度の全国学力調査は、新型コロナの影響により中止。 令和2年度末までに配置予定機器の整備に伴い、授業での活用についての研修を実施。	ー A	○令和3年度より一人一台タブレットの授業での利活用について、教員一人一人が自分の能力に応じて十分に研修を行うことができた。
(4) 教職員の研修の充実について 評価委員の評価 (B) ① 学校現場では各種研修を通して、教員としての指導力の向上に努力している。今後もさらなる研鑽と実践に期待したい。 ② 「確かな学力」の育成のため、小学校、中学校において学習指導が実施され、頑張っていることは評価できる。一方で、指導内容や時数が大幅に増加しているので単なる知識の詰め込みでなく、思考力・判断力・表現力を身に付ける質の高い学力の育成を期待する。 ③ 現状に妥協することなく、確かな学力がさらに身に着くよう、なお一層の努力をお願いしたい。				

令和2年度浅川町教育委員会事務の点検・評価総括表

努力事項	事業名	結果	評価	所見
<p>(5) 教育施設・設備の整備充実と活用</p>	<p>ア 教育施設・設備の整備充実とその有効活用を図る。</p> <p>◎浅川小中学校校舎整備事業</p> <p>※浅川町第5次振興計画による</p>	<p>浅川町学校施設整備基本構想策定</p>	<p>B</p>	<p>○小中学校の校舎整備に伴う基本構想を策定したが、町の財政的な問題があり、小学校・中学校の同敷地内の一体的な整備が困難となり、耐力度調査において「構造上危険な状態」である中学校建設を優先して事業を進める。</p>
	<p>◎GIGA スクール構想</p>	<p>GIGA スクール構想対応校内通信ネットワーク整備、タブレット端末等の購入</p>	<p>A</p>	<p>○新型コロナ対応に伴い、国のGIGA スクール構想の前倒しによりネットワークの整備、端末等購入によるICT環境の充実を図った。</p>
	<p>◎新型コロナ感染症対応</p>	<p>空気清浄機等感染症対策備品を購入</p>	<p>A</p>	<p>○新型コロナ対応臨時交付金を活用し、感染症対策を図った。</p>
	<p>◎浅川小学校</p> <p>○トイレウォシュレット取付工事、校庭駐車場舗装工事、いす式階段昇降機設置工事等</p> <p>○管理備品整備 県産材使用児童机・椅子110組</p> <p>○教材備品整備 マグネットスクリーン15枚、児童図書等</p>	<p>完了</p>	<p>A</p>	<p>○学校現場の要望に応え、迅速かつ適正に執行し教育施設設備の整備充実を図っている。</p>

努力事項	事業名	結果	評価	所見
	◎浅川中学校 ○プール循環浄化装置更新工事 ○管理備品整備 丁合機 1 台、会議用テーブル 5 脚、折りたたみいす 20 脚、マグネットスクリーン 7 台 ○教材備品整備 ミシン 3 台、生徒図書等 ◎あさかわこども園 ○グレーチング取付工事 遊戯スペース空調増設工事 ○管理備品等 静音型ミラーヒーター 大判プリンタ等 ◎学校給食センター ○学校給食費補助 ○調理器具修理 ○備品購入費 食缶、食器等	完了	A	
	イ 社会教育施設・社会体育施設の整備充実とその活用を図る。 ○中央公民館耐震補強事業	令和 3 年度 へ先送り	D	○雨漏り等修繕工事は実施しているが、地震等による大規模災害が心配である。

(5) 教育施設設備の整備充実とその活用について

評価委員の評価 (B)

- ① 浅川小中学校の施設整備については、町の財政事情による見直しによるものであることからやむを得ないところではあるが、浅川中学校の施設整備にあたっては事業計画により確実に事業を進めてほしい。
- ② 教育関係の各施設においては、全体的に老朽化しているので、必要に応じて設備や環境等の改善を図ってほしい。特に、社会教育・体育施設は老朽化が進んでおり、早急な改善が望まれる。
- ③ 災害時は地域住民の避難場所（浅川中学校、武道館）になるので、計画的な整備の推進が必要である。
- ④ 町予算の約 15%になる教育関係予算で、町当局の理解と協力により概ね各学校の要望通り整備している。
- ⑤ 児童生徒の安全面から細かいところまで点検の目を向け、必要に応じて修繕・補修に一層努めてほしい。
- ⑥ 新型コロナ対応臨時交付金を活用した GIGA スクール構想による児童生徒 1 人 1 台のタブレット配置や感染症対策用備品の購入など、ICT 教育を含めた教育現場での環境整備が図られた。

評価委員の評価 (B)

- ① ふるさとの文化や伝統を生かすためにも、地域を愛する教育の推進を図ってほしい。
- ② 国際化社会への対応のためにも小学校からの英語教育の充実を図ってほしい。
- ③ 全教職員の人間力の向上と、きめ細やかな指導により、町民から理解を得られる内容の充実した取り組みの推進を図ってほしい。
- ④ 早急に実施しなければならないことは、よく精査して的確に実施して欲しい。
- ⑤ 社会教育施設である中央公民館、町民体育館は老朽化が進んでおり、安全・安心のための耐震補強など基本的な改善が望まれる。
- ⑥ 多忙な教育活動の中、学校現場ではよく研修に努力されている。継続した校内外の授業研究会等の研修会開催により、教職員の授業力向上にさらに努力して欲しい。

(総括)

新型コロナウイルス感染症対応により、休校等の措置を含め例年になく対応に追われた中で各事業施策を実施されてきたことは評価できる。

浅川町教育委員会の重点施策及び努力事項に基づき、教育活動が推進され、一定の成果も上がっている。教育委員会として、子ども達の教育環境をさらに充実させるべく、予算確保と適切な執行に努め、さらに成果が上がるよう学校現場と連携を密にして浅川町の教育を推進してほしい。

施設整備については、町の財政事情により計画通りに進んでいない部分もあるが、老朽化対策を含め優先順位をつけ計画的かつ確実に事業を実施してほしい。

「教育は人づくり、人づくりは町づくり」であることを肝に銘じ、浅川町の明るい未来のために、教育のさらなる充実を期待したい。

報告期日 令和3年9月13日

浅川町教育委員会